

第12回 奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会 会議録

開催日時	平成30年11月14日（水）午前9時30分から午前10時20分まで		
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第22会議室		
出席者	委員	浜田委員、岡田委員、栗本委員、須川委員 【計4人出席】	
	事務局	【子ども未来部】 川尻子ども未来部次長、玉置子ども政策課長、大前こども園推進課長、栗山保育所・幼稚園課長、小澤子ども育成課長、野儀子育て相談課長 【保健所】 米田健康増進課長 【学校教育部】 福西教育政策課長、東畑学校教育課長、川端地域教育課長補佐	
開催形態	公開（傍聴者：2名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 議題 （1）平成30年度奈良市子ども会議について （2）奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条の検証について		
決定又は取り 纏め事項	・平成30年度奈良市子ども会議報告書については原案通り承認された。 ・奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条の検証については、検証報告書に一部修正を加えた内容で奈良市子ども・子育て会議での審議に進めることで承認された。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 議題 （1）平成30年度奈良市子ども会議について ・事務局より、平成30年度奈良市子ども会議について説明を行った。 ○栗本委員 ・子どもたちの公園づくりや遊び場づくりを自分たちでしたいという思いが強いのであれば、子どもたちも一緒に公園をつくっていくことも検討すればいいのではないかと思います。 ・整備をする公園から遠い地域に住んでいる子どもたちにとっては、身近な問題になりにくいと思うので、今後の対応等が大事になってくると思います。 ○須川委員 ・広報をされている中で、子ども会議がなんのために開かれているのかが伝わりにくいと感じますので、今までの話し合いの内容や結果をしっかりと示していけばも			

っと明確に伝わるのではないかと思います。

○岡田委員

- ・具体的な公園を決めて考えることは、自分とは縁の遠い場所である場合もあるので、子どもたちにとって、子ども会議に参加することで、奈良市や地域のこと、自分とのつながりを知るという意味では今回のテーマはどうかなという気はします。
- ・公園の整備を検討していく中で、その公園の周辺の地域の方からの意見もあると思いますが、子ども会議での意見と大きく異なっている場合はどのように検討をされるのか気になりました。

(2) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条の検証について

○須川委員

- ・小さな子どもがいる保護者の方に対して、奈良市が取り組んでいることがうまく伝わっている感じがしないので、広報も含めた取組がもっと必要であると思います。

○栗本委員

- ・公園の現状は地域のコミュニティがどれだけ成熟しているかが指標の一つだと感じますので、地域づくりから公園づくりを考えていかないといけないと思います。

○岡田委員

- ・今は、安全性の視点から、子どもが自由に遊ぶことに制限があると思います。見守るのは必要ですが、自由に遊ばせてあげて遠くから見守るというか、そういうコミュニティのあり方もいいのではないかと思います。

○事務局

- ・子どもの居場所づくり遊び場づくりを推進する指針及び実施計画を策定するという提案の部分ですが、まずは方向性や優先順位を段階的に考えていきたいと思えますので、若干の修正をしたいと考えております。

○浜田部会長

- ・遊びにはいろんな側面があって、ごっこ遊びをたくさんした方が想像力が豊かになるという研究者の方もおられますし、そういう遊びの意義みたいなものを保護者の方に伝えて行かないと、狭い意味での遊びだけでは課題があると思います。もう一つ、私は、社会的養護のことにも関わっていますが、虐待をされている子は学ぶ権利を奪われていますが、遊ぶ権利もすぐ奪われていますので、子どもたちから相談を受ける時も、遊びながら「ねえ、聞いてよ」で始まることも多いので、そういう相談救済の面でも遊びは大事だと思います。

資 料	【資料1】平成30年度奈良市子ども会議の検証について 【資料2】奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条の検証について
-----	--